

授業科目 分子生物学特論	科目概要・形式 1 単位 15 時間	配当年次 1 年 前期
科目責任者	今 淳	
担当者	今 淳	
1. 科目のねらい・目標 大学時代に学んだ分子生物学の基本的知識がきちんと身に付いている者が、本講義を通じて最新の知見を習得し、更にレベルアップし、大学院での研究に活用できる基盤を構築することを目的とする。		
2. 授業計画・内容 ・指定教科書の内容に沿って講義を行う。各章は指定教科書の章に相当する。 第1講- 第1章, 第2章 第2講- 第2章, 第3章 第3講- 第4章, 第5章 第4講- 第5章, 第6章 第5講- 第7章, 第8章 第6講- 第9章, 第10章 第7講- 第11章, 第12章 第8講- 総括, 筆記試験及び正解の説明		
3. 教科書、参考書 ・指定教科書：服部成介, 水島-菅野純子 著, 菅野純夫 監修：よくわかるゲノム医学-ヒトゲノムの基本から個別化医療まで（改定第2版），2016年，羊土社，ISBN978-4-7581-2066-1		
4. 成績評価方法 ・筆記試験（60点以上），毎回の課題レポート（平均60点以上）によって合格とする。筆記試験の再試験は原則行わない。毎回の期日までに課題レポートを提出しない者は不合格とする。		
5. 受講要件 ・分子生物学の基礎的知識が受講前に身に付いていることが受講要件である。そのことを前提にして高いレベルの講義を進める予定である。大学院で分子生物学的研究を行う者は積極的に受講すること。大学院の研究とは無関係であり単位取得を目的とするだけの学生，分子生物学の基礎的知識が全く身に付いていない学生は受講を避けること。		
6. 社会人学生に対する配慮 ・特に無し。		
7. その他 ・大学卒業までに身に付いている筈の分子生物学の基礎的な部分に関しては講義では一切割愛し，更に専門的な部分のみを講義するので，受講者は毎回の予習・復習及び課題レポート作成・提出が必須である。		